

みなみ公民館だより 11月号

(令和4年11月1日 発行)

編集 蕨市立南公民館 蕨市南町2-23-19

TEL 048-442-4055



No. 398

寒さ厳しい候となり、三和公園のイチョウの葉が黄色くなってきました。寒さで換気をやめたくなる季節ですが、マスク・手や指の消毒・換気等感染対策をとりながら活動していきます。



公民館講座



◆小学生～高校生の点字入門教室

日時 11月12日(土) 午前10時～
場所 南公民館 2階団体連絡室
内容 点字の基礎を学び、点字器を使って点字絵本を作成
対象 市内の小学生～高校生
申込 南公民館へ



◆おはなしくまさん

～おかあさんがするおはなし会～
日時 11月19日(土)
午後2時～
場所 南公民館 3階集会室
内容 X'mas グッズを作ろう



◆0歳児ママのふれあい広場

日時 11月24日(木)
午前10時～
場所 南公民館 2階和室
内容 親子で遊ぼう
幼稚園ってどんなところ
定員 10組(先着順)
申込 11月1日(月)～ 電話・メール可



◆にこにこ ONE TWO KIDS!

日時 11月17日(木)
午前10時～
場所 南公民館 2階団体連絡室
内容 リズム遊び(リトミック)
対象 1歳児・2歳児のお子さんと保護者
定員 1部6組(先着順)
申込 11月1日(月)～ 電話・メール可



◆皆既月食と天王星を見よう!

日時 11月8日(火) 午後6時半
会場 南公民館
講師 佐藤達雄さん
申込 募集中 電話・メール可
内容 室内でプラネタリウムを見た後、公園で天体望遠鏡を使って観察します。
雨天の場合は、室内でプラネタリウムを見ます。



◆新入学を祝うつどい

「南公民館にて記念品の贈呈」

日時 11月1日(火)～18日(金)
会場 南公民館 1階事務所へ
対象 南小学校学区在住の平成28年4月2日～平成29年4月1日生まれの児童
内容 記念品のお渡し

※対象者にはご案内の通知を差し上げております。

新入学の皆さんおめでとうございます!



蕨市立くるみ保育園

子ども達のパワーは、すごいですね！

園長 加藤 綾子

10月8日（土）にくるみ保育園の運動会を行いました。前日まで降り続いていた雨に、保護者や職員は心配でしたが、子ども達は元気いっぱいに「明日運動会だよね！」と天気を気にすることもなく、楽しみにしているようでした。

その甲斐あってか、当日は雨もやみ皆さんが楽しみにしていた運動会を予定通り開催することが出来ました。

子ども達が練習を重ねてきた成果を発揮することが出来、とても良かったと思います。

中には転んでしまった子もいましたが、泣かずに最後まで頑張る姿もあり子ども達の成長も見る事が出来ました。

やはり子ども達のパワーは、すごいですね！

これから益々子ども達の成長が、著しくなってくる時期なので、楽しみです。



蕨市立南小学校ひまわり学級

こんにちは。南小学校ひまわり学級2学期の特集をお届けします。

早いもので、2学期もおよそ半分が終わろうとしています。9月は、2年ぶりに蕨高校との交流会を行うことができました。ひまわりの子たちは、高校生と一緒に勉強をしたり、外遊びをしたりすることができ、充実した時間を過ごすことができました。

10月には、6年生が修学旅行に参加しました。1年ぶりの宿泊学習で子ども達の緊張も見られましたが、日光の文化や自然を感じたり、クラスの友達とお風呂に入ったり、部屋で過ごしたり、ハイキングしたりと学校では味わえない貴重な体験をすることができました。また、1,2年生は交流会に参加しました。2年生は優しく1年生をリードし、1年生はお兄さんやお姉さんと色々なレクリエーションで仲良く遊ぶことができました。

運動会の練習もまもなく始まります。それぞれの種目に全力で取り組み、自分の力を出し切れるように頑張ります。

残りの2学期も、小学校合同学習会、校外学習、5年生ミニバス親善大会など、まだまだ行事が続きます。体調管理に気を付けながら、みんなで仲良く、楽しく、助け合いながら、学びの多い充実した学期にしていきたいと思います。

河鍋暁斎記念美術館 2022年11月展覧会

(南町4-36-4 ☎441-9780)

企画展「逢魔（おうま）が時（とき） —暁斎が描いた妖怪変化—」展
同時開催 特別展「『暁斎百鬼画談』の世界」

河鍋暁斎記念美術館のHP
<http://kyosai-museum.jp/>

※新型コロナウイルスの感染防止対策等により、予定が急に変更される場合がありますので、最新の情報は美術館のホームページでご確認ください。

会期：2022年11月2日（水）～11月25日（金）

休館日：毎週火・木曜、毎月26日～末日、年末年始

入館料：一般600円、高校生・大学生500円、小・中学生300円、65歳以上500円



「なんでも描ける絵師」と言われた暁斎ですが、中でも暁斎が描く妖怪画は、細部にわたった表現や豊かな発想力により、根強い人気を誇っています。11月からの企画展では鬼や骸骨、天狗など、暁斎が描いたさまざまな「妖怪変化」を展示いたしました。

特別展では、「暁斎の妖怪画」を載せる絵本として特に名高い版本『暁斎百鬼画談』から、主要な場面をパネルでご覧いただけます。

【今月のお勧め作品】

『暁斎酔画』二編より「百鬼夜行」暁斎（画工 河鍋洞郁）版本

本書は暁斎が狩野派の画号「河鍋洞郁」を名乗って描き、出版された絵本で、三編（明治23年）まで出版されました。内容は妖怪に限らず、伝統行事や七福神、鍾馗と鬼、道釈人物画など多岐にわたり、絵手本の役割も果たしたと思われます。本図は「百鬼夜行」とタイトルが明記されている妖怪画です。内容は、鼓（つづみ）や仏具の雲盤（うんぱん）、木魚など、鳴り物類が妖怪となった付喪神（つくもがみ）と、カエルや猿、狼、牛といった動物の妖怪たちが一斉に走っていく姿を描いています。

